

消費税率変更対応の状況について

1. 課題・問題点

- ・SuperStream の Input/Template では消費税率をひとつしか保持できない仕様となっている
期末またぎのデータでは消費税額を正確に把握できないリスクがある
- ・Input/Template は 2015 年 4 月に廃止する予定であるため、コストをかけた改変は実施しない
Windows7 化関連で、現行の SuperStream は Input/Template とともに新規システムへリプレイスされる予定

→ 受け渡されるデータが税率 8%に一本化されるまでは、暫定的にオペレーションでカバーする運用が求められる(半年程度か)

正確に消費税額を把握するには、Input/Template の上流システム(SystemA,B,C)側での対応が求められる

2. 上流システム側での対応予定

(1) SystemA(委託者報酬、代行手数料接続)

- ・T-STAR/TX では税率変更対応が実施される
 - ・T-STAR/TX から投信管理会計システムを経由してデータが接続される
 - ・投信管理会計システムではデータが集約されるため、期末またぎのデータでは税率 5%と 8%のデータが混在する
 - ・T-STAR/TX 側で、内訳の明細がダウンロードできる機能を開発する予定(リリース 2014 年 3 月) この情報を元に SuperStream への手入力が必要となる
- ※「外部委託顧問料接続」(管理会計データ収集システム→Input/Template)については、12/4(水)16 時から打合せ実施予定

(2) SystemB(国内顧問料接続)

上記「外部委託顧問料接続」と同様に打合せ実施予定(方針未定)

(3) SystemC(経費接続)

- ・上流の「費用管理システム」ではオンコーディングで税率が定義されており、その部分を修正するに留まる見込
- ・経費関連のシステムでは「税込金額」のみを有しており、税額は「費用管理システム」にて割り戻して算出されている
- ・結果、申請日(データ入力日)によって税率が 5%か 8%であるか判断する仕様となる予定

3. 財務部としての対応

(1) SystemA(委託者報酬、代行手数料接続)

一旦データ接続を実施したあと、T-STAR/TX の情報を元にマニュアルで修正する必要がある

(2) SystemB(国内顧問料接続)

(未定)今後検討

(3) SystemC(経費接続)

現在の仕様では正確に税額を算出できない状況 部としての方針を決めて取り組みたい

- ・申請日(データ入力日)での判断でよとするか
- ・勘定科目で絞るケース(特定の勘定だけ申請者に確認)
- ・金額基準(ある一定の金額よりも大きい申請のみ確認)

→ 件数等の負荷を考慮し、財務会計チームで検討

2013年7月22日

ファンド支払投資顧問料確認書

野村アセットマネジメント株式会社
財 務 部 大宮

下記のとおり顧問料を計算いたしましたので、ご確認ください。

ファンド名 : 第1回野村短期公社債ファンド
ファンドコード : 181001

計 算 期 間 : 2013年1月22日 ~ 2013年7月19日 (179日)

純資産総額 : 4,882,274,788

日 付	純 資 産
2013年1月末	701,369,054
2013年2月末	699,962,734
2013年3月末	699,832,194
2013年4月末	700,775,748
2013年5月末	697,446,482
2013年6月末	691,324,695
2013年7月19日	691,563,881
合 計	4,882,274,788

平均純資産総額 : 4,882,274,788 ÷ 7 = 697,467,827

年 率 : 平均純資産総額の最初の50,000,000,000 円までの部分 ... 0.060000%
50,000,000,000 円を超える部分 ... 0.040000%

投資顧問料 : 205,228 円
支 払 額 : 205,228 円
10,261 (消費税 5%)
合 計 215,489 円

9/10 ~ 3/31 10日分
4/1 ~ 4/10 10日分
合計 215,489 円

支 払 先 : ブラックロック・ジャパン株式会社

支払予定日 : 2013年8月19日

財 務 部	
精 査 印	検 印
	